

〔様式 1〕

事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月20日			
平成16年度	事業コード	11210	電話	042(769)8354
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉	課	在宅サービスグループ
事務事業名	ねたきり高齢者等慰問品支給事業			
予算上の事務事業名	慰問品支給事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	63以前年度
施策名	第1施策	地域ケアサービスの充実	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市ねたきり高齢者等慰問品支給要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)	
在宅のねたきり、痴呆性高齢者の日頃の労苦をねぎらい、福祉向上を図ることを目的として、慰問品を支給する。	当該年度9月15日現在65歳以上で、7月1日現在在宅のねたきり・痴呆性高齢者	
	対象数	単位
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容		
ねたきり高齢者(319人)、痴呆性高齢者(78人)合計397人・・・7月中に前年度対象者の現況調査と新規申請受付。11月に防水シートを業者から個別配送。		
(4)個別計画の概要	概要	
計画名	なし	
計画年次	年度～年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	支給対象者の対年度伸率	支給対象者数/前年対象者数×100	支給状況を表す(慰問品を必要としている人数の把握)	13	14	15	16	17
				105	115	89	114	105
活動指標	支給品の単価の伸率	現年度支給品単価/前年度支給品単価×100	支給品価格の状況を表す(物価変動対応)	99	105	98	103	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
		5,357	926	809	952	1,000
	人員・時間数	1.2	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
	人件費	9,612	1,202	1,202	1,202	1,202
	その他経費					
	合計	14,969	2,128	2,011	2,154	2,202
	特定財源	0	0	0	0	0
	対象数(--)	4,018	445	397	453	476
	単位あたり経費(円)	3,725.5	4,782.0	5,065.5	4,755.0	4,626.1

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	毎年、前年度の対象者の現況調査および新規申請受付を実施し、該当した対象者全員に支給できている。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 介護者、ねたきり・痴呆性高齢者の日頃の労苦をねぎらい、生活支援・福祉向上の役割を果たす必要がある。
(3)有効性 評価 B ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		支給品が1種類だと、各対象者にとって必要な物資ではない場合がある。
		説明	
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	毎年、支給品単価を上昇させずに、支給できている。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	身体・心身状況から、生活支援と福祉向上を図る点で、対象者の設定は適切である。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
必要とされている支給品の検討をする		対象者や支給方法等の検討をする。	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較 神奈川県は、平成12年度から廃止された。
	今後の進め方	
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 物資支給事業であることから、対象者のニーズを踏まえ、どのようなものが効果的な支給になるのか検討しながら、事業展開を図る。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

<今後の進め方:廃止> 配送による物品支給では慰問の意味をなしておらず、また、対象者の正確な把握が困難であることは公平性にも欠いており、廃止を検討すべきである。